№22　令和7年 5月28日（水）

ＣＳ通信

訓子府町 CS・学校運営協議会

地域みんなで学校応援団
これまでのCS通信や学校運営協議会に
関する情報はこちらへ 《訓子府町HP》⇒

CS(コミュニティ・スクール) 第1回学校運営協議会の開催

今年度の第１回の訓子府町学校運営協議会を５月２０日に開催しました。委員の自己紹介後、認定こども園から小中学校、高校の園長・校長より本年度の学校経営方針・重点目標等について説明があり、全て承認されました。

各校の今年度の経営方針が承認される！！

〈認定こども園〉こども園の現状と課題、今年度の重点を5点。
(1)face to face (2)以和為貴 (3)権限委譲 (4)開園10年
(5)自己肯定感の育成　園児数が減ってきている。園内では、家庭訪問について検討している。今のところ継続で行く。

〈訓子府小学校〉R7年度重点教育目標【伝え合い、認め合い、生き生きと学ぶ子どもの育成】
（副題）～楽しく、安心して学ぶことができる学校に～　重点経営目標は『温かな人間関係と「わかる」「できる」楽しい授業』を。重点達成の手立ては、＜温かな人間関係＞で5点。＜わかる、できる、楽しい授業＞で6点。子どもたちが安心して学べる環境づくりに着手する。

〈居武士小学校〉R7年度学校教育目標【ぐんぐんのばそう！ じぶんの力】（副題）～自律し、自立する子どもの育成～　「ぐんぐんのばそう」は子どもばかりでなく、先生方も自分の力を伸ばしてほしい。＜自立する＞意味は、＜自分で生活する＞。そのためには自律できなければならない。具体的に、チャイムの鳴る数を減らしている。自分で時計を見て行動できる環境づくりを意図している。３つの「あ」は後始末が今年の課題。Well being＝いきいきと生きる、ために教員も資質能力を伸ばそう「進化・深化・新化」自分の趣味・特技を伸ばしてください。

〈訓子府中学校〉グランドデザインは小中統一部分を作り、9年間で子どもたちを育てていく、その意識が大事。R7年度の重点目標は【的確な「判断」と「行動」ができる生徒の育成】 子どもたちの特徴は、素直だが人前に出るのが苦手だったり躊躇したりする。そこを育てるために経営の重点を３つ。〇「わかる授業」〇「生徒支援」〇「教育活動の質の向上」 など共に学び合う組織へなっていきたい。

〈訓子府高校〉スクールミッションを再定義した。小規模の高校は全道どこでも大変である。しかし訓子府高校は、町から 11 の支援があり、とても助かっている。また、スクールポリシーは３つの観点に絞り、それぞれ２つの柱を設けた。今年は 31 名の入学があり、その中でも訓中から 12 名が入学した。次年度に向けても生徒募集に力を入れたい。

◇令和7年度　学校運営協議会委員の皆様　～よろしくお願いします。～【敬称略】

認定こども園育友会会長	昆野 将之（新）	
居武士小学校後援会会長	細川 恒平（新）	
認定こども園評議員	加藤 憲一	
居武士小学校評議員	加藤 一俊	
町内会連絡協議会会長	石田 敏明	【会長】
スクールサポーター	美馬 律子	
訓子府小学校長	鈴木 聡（新）	
訓子府中学校長	田口 雅和（新）	
JAきたみらい訓子府地区事務所担当M	児玉 隆志	
訓子府小学校ＰＴＡ会長	荒沢 直樹（新）	
訓子府中学校ＰＴＡ会長	上原寛隆(新)【副会長】	
訓子府小学校評議員	小坂 浩司（新）	
訓子府中学校評議員	今野 雅祐（新）	
実践会連絡協議会会長	武藤 一仁（新）	
認定こども園長	牧野 喜充	
居武士小学校長	相馬 一之	
訓子府高等学校長	堀井 圭司（新）	
訓子府町商工会副会長	谷口 武彦	

今年度の学校運営協議会は、あと2回予定されています。１０月下旬には「前期の学校経営の評価と反省」についての発表と「今日的な教育課題についてのグループ協議」、2月には「今年度の学校経営の反省」と「学校運営協議会の活動のまとめ」について話し合う予定となっています。

◇ 今年度も「スクールサポーター」を募集します！◇

平成 21 年にスタートした「訓子府町地域学校協働活動事業」ですが、17 年間つづいています。当初から登録をされた方々は累計、個人 69 名、13 団体（102 名）となっております。実際に活動を行っていただく方には教育委員会からボランティア保険等をかけさせていただいています。

今年も多くの方にご参加いただいております。居武士小学校の読み聞かせには、谷本さん、伊藤さん、川戸さん、古沢さんにお手伝いいただいています。こども園花苗種植えに野菜倶楽部の皆さん、訓中訓高協働農作業には元 PTA 会長の石見さん、齊藤さん、お手伝いに谷さん、久積さんなど町内の農家の方にご協力をいただいております。ありがとうございます。

主なボランティア活動は、

①授業における学習支援
（スキー・スケート指導補助、農作業体験指導、地域の歴史学習の指導、戦争体験の話など）

②学習環境整備支援
（本の読み聞かせ、花壇・グラウンドの草取り、樹木の剪定、図書室の整理など）

③放課後活動支援
（クラブ活動、寺子屋・児童センターの学習支援、少年団活動における指導者の補助など）

④行事等での補助
（遠足・校外学習の引率補助及び安全指導など）

いろんな方に参加いただいている「地域学校協働活動事業」では、
今まで経験されていない方も**募集**しています。
興味のある方はぜひご連絡を下記まで！！

～ できる時に、できる範囲で 安全パトロール ～

「ながら見守り」のお願い

地域の中で元気いっぱいに成長していく子どもたち、でも、子どもたちの周りには危険がいっぱい！

登下校時や放課後に心配される交通事故、子どもたちに声をかける不審者などなど。また、ご家庭や学校で指導はされていても、危ない場所に立ち入ったり、危険な遊びをしてしまったりしてしまうこともあります。

多くの人が、さまざまな場所や時間に子どもたちを見守ってあげることにより、事故や犯罪を未然に防ぐことができます。

普段の「犬の散歩」や「ウォーキングやジョギング」の途中、「買い物」の途中、「車の運転中」など、何かをし「ながら」で構いません。子どもたちを見守ってあげてください。危険な行為等を見かけたら、その場で注意してあげてください。そして、学校に連絡をお願いします。